

事業番号 2022 - 金融 - 21 - 0025

令和4年度行政事業レビューシート ( 金融庁 )

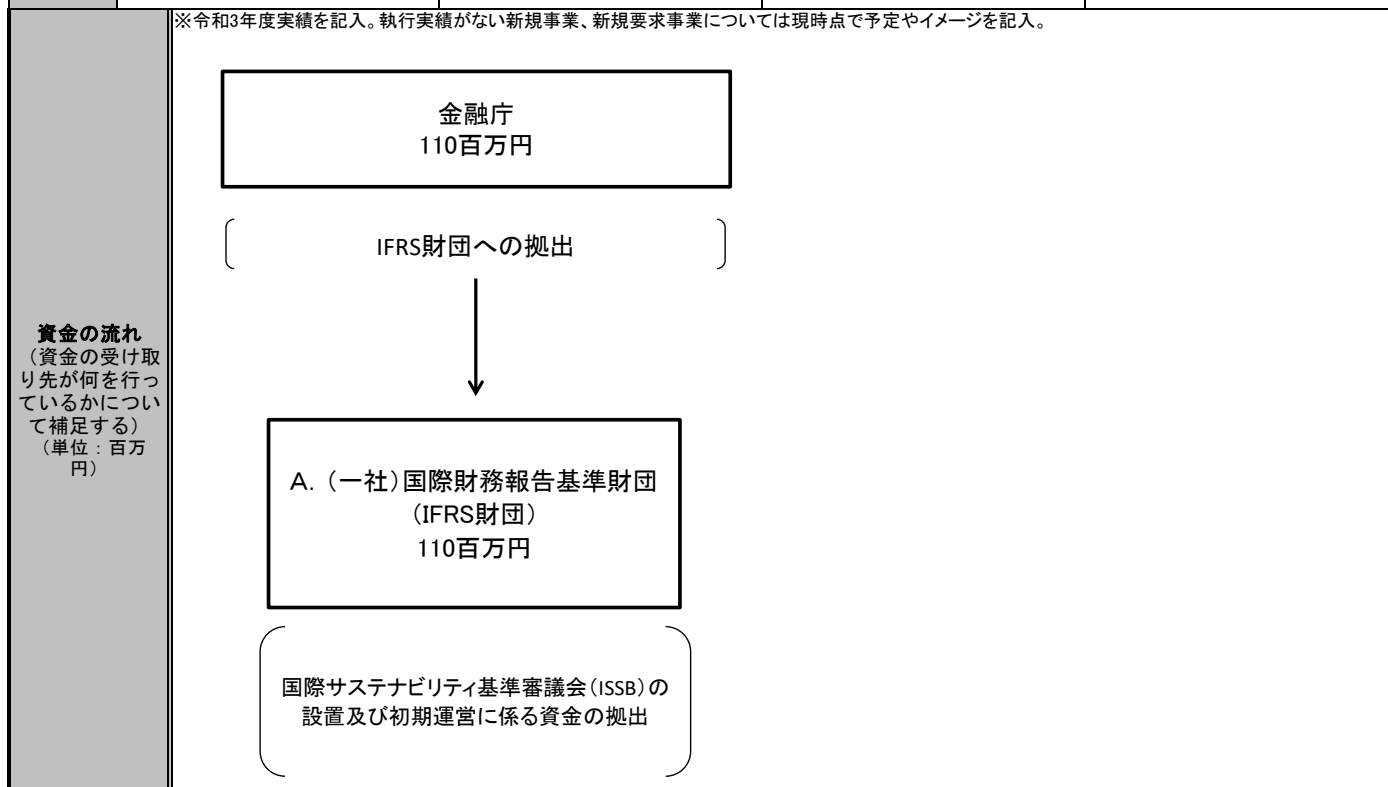
事業名	国際財務報告基準財団 (IFRS財団) 拠出金			担当部局庁	企画市場局		作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定) 年度	令和3年度	担当課室	企業開示課		廣川 斉		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	「成長戦略フォローアップ」(令和3年6月18日閣議決定)				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) の設置及び初期運営に係る資金の拠出を通じて、国際財務報告基準財団 (IFRS財団) による国際的なサステナビリティ開示基準の策定に向けた取組に積極的に貢献することで、議論における日本のプレゼンスを高めることができ、日本の主張を基準に反映すべく、効果的な意見発信をする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	IFRS財団に対し、ISSBの設置及び初期運営に係る資金を拠出する。								
実施方法	その他								
予算額・執行額 (単位: 百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-	-	
		補正予算	-	-	110	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	-	
	計		0	0	110	0	0	0	
	執行額		0	0	110	-	-	-	
	執行率 (%)		-	-	100%	-	-	-	
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	100%	-	-	-	
令和4・5年度予算内訳 (単位: 百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	計	-	-						
活動内容 (アクティビティ)	政府からIFRS財団に対し、ISSBの設置及び初期運営に係る資金を拠出することで、IFRS財団による国際的なサステナビリティ開示基準の策定に向けた取組に積極的に貢献する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	-	-	活動実績	-	-	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	-/-			単位当たりコスト	-	-	-	-	-
				計算式	-/-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた									

		定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	2022年3月31日、ISSBは気候変動を含むサステナビリティ開示基準の公開草案を公表し、年内にも最終化を予定している。今後、基準の草案に日本の主張が反映されるよう、日本から意見発信をしていく予定であり、基準策定への貢献度及び意見発信の成果については、今後のISSB会議の議論の方向性等を総合的に勘案して評価すべき性質のものである。よって、定性的な成果目標を設定する。			定性的な成果目標は、ISSBの設置及び初期運営に係る資金の拠出を通じて、国際的なサステナビリティ開示基準の策定に貢献することで日本のプレゼンスを高め、日本の主張を基準に反映すべく、効果的な意見発信を行うことである。令和3年度の達成状況については、ISSBにおいて議長、副議長をはじめとするボードメンバー及び主要スタッフの採用が進められるとともに、本年3月にはISSBとして初めての基準案(サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的な要求事項及び気候関連開示)が公表され、全世界からの意見募集が行われるなどの進捗があったところ、ISSBの初期運営費のための資金拠出を通じて基準策定に向けたこれらの取組に貢献し、日本から効果的な意見発信を行うための基盤を整えた。					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
				実績						
				目標値						
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		達成度	%				
				実績						
				目標値						
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		達成度	%				
				実績						
				目標値						
	成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									
	政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	横断的施策						
施策			施策3 その他の横断的施策	政策評価書URL	【事前分析表】 <a href="https://www.fsa.go.jp/seisaku/siryou/202110/R3jizenbunsekikyoku.pdf">https://www.fsa.go.jp/seisaku/siryou/202110/R3jizenbunsekikyoku.pdf</a> 【実績評価書】 <a href="https://www.fsa.go.jp/seisaku/siryou/202208/r3jissekihyouka.pdf">https://www.fsa.go.jp/seisaku/siryou/202208/r3jissekihyouka.pdf</a>					
新経済・財政再生計画改革工程表2021		取組事項	分野:	-	該当箇所	【事前分析表】P29 【実績評価書】P117				
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:							
			該当箇所							
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	国際的に一貫性のあるサステナビリティ基準の策定は、開示情報の比較可能性の向上については資本市場における効率的な資源配分に資するものであるため、国民や社会のニーズを的確に反映していると考えられる。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国内の民間団体において、拠出金の資金確保に取り組んでいるところではあるが、ISSBにより策定される基準の国内法上の位置付けが明確になっていない中、民間により、早期に十分な拠出を求めることは難しいと考える。					
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	「成長戦略フォローアップ」(令和3年6月18日閣議決定)において、「国際基準の策定に関して、国際会計基準(IFRS)財団における気候変動を含むサステナビリティについての比較可能で整合性の取れた開示の枠組みの策定の動きに、意見発信を含め日本として積極的に参画する。」とされており、本事業は政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業であり、政策体系の中で優先度の高い事業であると考えられる。						

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	上記のとおり国民の利益に資することから、国費での負担は妥当であるとする。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	資金拠出に先立ち、金融庁とIFRS財団との間で、ISSBの初期運営費を支援するための資金であることを確認するための同一内容の書簡を交換しており、費目・用途は真に必要なものに限定されているとする。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	IFRS財団への資金拠出により、国際的なサステナビリティ開示基準の策定に向けた取組に貢献し、日本から効果的な意見発信を行うための基盤を整えたことから、目標に見合った実績をあげているとする。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	事業番号		事業名	
点検・改善結果	点検結果	ISSBの初期運営費を支援するための資金拠出を行うことを通じて、ISSBによる迅速な基準開発を促し、ISSB基準案の意見募集を通じて日本から意見発信を行う環境を整えるなど、国際的なサステナビリティ開示基準の策定にむけた日本の貢献を後押しした。		
	改善の方向性			
<b>外部有識者の所見</b>				
(外部有識者点検対象外)				
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>				
終了予定	○拠出した資金が有効に活用されるよう、資金用途を確認すること。			
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>				
予定通り	○拠出した資金が、ISSBの設置及び初期運営において有効に活用されるよう、IFRS財団による会計報告等を通じて、資金用途の適切性及び有効性について確認する。 ○IFRS財団に対し、ISSBの設置及び初期運営に係る資金を拠出するための予算であり、前年度終了事業であるため、令和5年度予算概算要求において予算要求しない。			
<b>備考</b>				

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成23年度	-		
平成24年度	-		
平成25年度	-		
平成26年度	-		
平成27年度	-		
平成28年度	-		
平成29年度	-		
平成30年度	-		
令和元年度			
令和2年度			
令和3年度			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記)	A.国際財務報告基準財団 (IFRS財団)			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	ISSBの設置及び初期運営費用	110			
計		110	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国際財務報告基準財団 (IFRS財団)	-	拠出金	110	その他	-	-	